

第2回 財政健全化推進市民会議 意見概要

(公共施設配置適正化実行計画(素案)に関する意見)

1 計画全体について

No.	意見
1	素案の内容については、有識者からの提言を踏まえて、随分よくなってきたと思う。
2	古くなった施設を建て替える方がよいか、長寿命化して長く使う方がよいか判断するには、標準的にはいつまで使うという基準が必要であり、はっきり記載した方がよい。
3	施設を廃止するにしても、代わりに他の施設の空き時間を利用できるとか、将来的にこのような機能の施設をつくるのでしばらくは我慢してほしいということであれば夢がある。夢や希望があることで納得してもらえる。 子育て世代と高齢者、障害者と健常者の接点が少なくなっているので、交流の場を作り、助け合いができるような施設の統廃合であればよい。
4	将来的な人口減少を見据えれば学校は統廃合の方向であり、他にも集約していくべき施設もあろうが、これから必要な施設もあるはずであり両面から再配置を考えていかねばならない。
5	受益者負担のあり方を考えるにあたって施設の建設や維持管理にかかるコストをはっきりさせなければならない。
6	市民への周知も必要である。

2 個別施設について

No.	意見
7	勤労福祉会館とサンライフ明石について「引き続き様々な目的での活用」と書かれているが、「様々」という表現ではなくて、高齢者がいきいきと活動できる場になっていることを、はっきりと謳ったほうがよい。
8	小中学校の統廃合をマイナスではなく、プラスに捉えることを謳って進めてもらいたい。
9	市営住宅について、市民に対しては、10年後の入居状況の見込みなどを示したうえで、例えば現在3棟あるものを1棟に集約できる、ただし集約にあたってはバリアフリー対応をしなければならないので建て替えをするといった形で、分かりやすく説明してもらいたい。
10	斎場のうち、焼却場は必要だと思うが、葬祭式場については民業圧迫だと感じていた。民営化を検討するとなれば、もともとのお金の無駄使いだったのではないかと感じる。過去の例を踏まえて十分に検討してほしい。